

## 人が輝く地域社会～「世界水準の価値創造空間」の形成に向けた環境整備、対流促進 - 地域資源の活用・対流の促進 -

西谷榮治  
前利尻町立博物館学芸員

### 1. 利尻島史の調査研究

#### 1-1. 朝鮮人の泰山漂着

「李志恒「漂舟録」について」(池内敏 『鳥取大学教養部紀要』 第28巻 61-95p)

元禄9年(1696年)5月、朝鮮王朝(李朝)の下級官吏李志恒(松前藩の記録には李先達として登場)ら8人の朝鮮人が泰山(松前藩の記録には礼文島と登場)に漂着。李志恒一行は泰山から宗谷を経て南下。途中で松前藩の羽幌金掘奉行新谷十郎兵に保護される。松前藩の手で松前から江戸に護送される。対馬藩の責任で釜山に送還された。

泰山に漂着した朝鮮人の一人李志恒が日記「漂舟録」がある。

この日記は元禄9年4月の釜山出帆から翌年3月の釜山帰着までを記述している。

漂流当時の李志恒は資級六品の武官で、東萊府に住んでいた。江原原州にある地方官庁を訪ねる用務から海路北上。乗員は8人であった。元禄9年(1696年)4月13日に釜山を出た船は慶尚道北端にある寧海に到着し、4月28日にさらに北上しようと出船した。しかし強い風にあおられて漂流。

12日目、「前方に泰山」のようなものが初めて見えたとある。

「上が白く、下が黒かった、山が青い天にそびえ立ち、山の上に白く積もった雪が白く見えた、水深が浅く入江になったところを探し当て、雨衣をまとって夜を過ごした」と漂着地を書き記している。

ここに住んでいた人たちは倭人ではなく、文字を持たない人たちであったため意思疎通が十分にできなかったため、小さな海をひとつ越えて東北側にある陸地へ移った。そこでも同様であったので、さらに同じ陸地内で移動し、また海を越えて東南側の陸地にたどり着いた。地名は小有我[ソウヤ]であった。そこに住んでいる人たちも倭人ではなかった。五日間ほど留まったのち、20日余り継続して南下した。「溪西隅」[ハボロ]で初めて倭人と出会った。ハボロで松前藩羽保呂金掘奉行新谷十郎兵衛から「僉議」を受け、7月末に松前城下に連れて行かれた。松前では藩の保護下に置かれ、さまざまな「僉議」を受けた。8月30日に松前を出て9月27日に江戸に到着。身柄を対馬藩に引き渡された。江戸を出発して12月14日に対馬に到着した。ほぼ一ヶ月ほど対馬に滞在したのち、元禄10年(1697年)2月2日に対馬府中を出て、3月5日に釜山に到着した。

漂着した泰山、海を越えて渡った小有我[ソウヤ]で出会った倭人でない人たちの詳細な記録は当時の利尻・宗谷のアイヌの人たちのことを詳細に知ることができる。

●李志恒 先祖は氷川(ヨンチョン)出身の学者で、東萊府(トンネブ)に住んでいた。

#### 1-2. 会津藩の利尻島警固

ロシアの択捉島、利尻島、樺太襲撃から北を守るために東北諸藩が蝦夷地警固。

会津藩は松前・宗谷・利尻・樺太を警固。

#### 利尻島警固隊

宗谷詰軍将内藤源助の指揮下におかれ、先手二番組を構成して宗谷より利尻に出張。

隊長梶原平馬景保 明和2年(1765)の生まれで、千石の番頭。

隊員 組頭 三宅治兵衛 300石  
組頭 黒河内武右衛門 350石  
物頭 石川膳太夫 450石  
物頭 太田権佐 300石  
物頭 馬場図書 400石  
目付 伊藤阿右衛門 130石  
ほか高士(甲士)、与力、足輕など総勢252名

利尻島警固は『欽文(あきさと)様御年譜』第二巻に書かれている。

「リイシリ嶋之内ヲツチと申所へ着船、今日四ツ時トトマリへ上陸御設之仮小屋へ繰込、直ニ御人数重軽共ニ三手二分ケ、三番格ニ戎役相勤陣屋より戎之方海岸ウエンヒタ丑之方ホンモシリ両所へ遠見番所立、組士屯人足輕式人夜中者組士式人ツツ当番いたし、組士式人足輕三人ツツ昼夜無間断相廻り、外ニ夜中者平馬始組頭、物頭、御目付、武具奉行等式人ツツ組合廻り相勤之」

宗谷を出帆して利尻島のツチ(現在の鴛泊)に着く。トトマリ(現在の本泊)に上陸。ウエンヒタとホンモシリに遠見番所を設ける。昼は組士一人、足輕二人、夜は組士二人で見張る。陣屋周囲を見回る。

### 利尻島の会津藩士の墓

#### ◎利尻町沓形字種富町

- 1 会津諏訪幾之進光尚之墓 文化五年戊辰 七月十日  
→会津諏訪幾之進光尚:権太詰北原隊200石外様士
- 2 会津山田重佐久之墓 文化五年戊辰七月八日

#### ◎慈教寺境内 利尻富士町鴛泊字本泊

- 3 会津白石又右衛門僕宇兵衛墓 文化五年戊辰八月二日 耶麻郡夷田村所生  
→白石又右衛門:権太詰北原隊勘定所役人  
耶麻郡夷田村所生→川東組夷田新田村→猪苗代長大字金田字夷田
- 4 会津関場友吉春温墓 文化五年戊辰八月二日  
→関場友吉:利尻詰梶原隊与力
- 5 会津遠山登僕利助墓 文化五年六月七日 耶麻郡西連村所生  
遠山登為則:利尻詰梶原隊甲士  
耶麻郡西連村所生→塩川組<上・下>西連村→耶麻郡磐梯町

#### ◎ペシ岬 利尻富士町鴛泊字港町

- 6 会津樋口源太僕孫吉墓 文化五年戊辰七月二十四日 大沼郡高田村所生  
→樋口源太:利尻詰梶原隊200石外様士  
大沼郡高田村→高田組高田村→会津高田町高田
- 7 会津渡部左右秀俊墓
- 8 丹羽織之丞僕茂右衛門墓 文化五年戊辰七月十二日 河沼郡駒板村所生  
丹羽織之丞:権太詰軍監400石軍事奉行  
河沼郡駒板村→代田組駒板村→河東町大字金田字駒板

#### ◎8名の墓のうち4人は権太詰警固、4人は利尻詰警固

権太詰警固者の墓が利尻島にある理由

観勢丸の利尻島漂着

文化5年7月7日(新暦:8月28日)権太を出帆

暴風雨に遭遇し、7月11日(新暦:9月1日)利尻島リヤコタンに漂着大破した。

リヤコタン 利尻町沓形字種富町海岸

- ①山田重佐久 7月8日(新暦:8月29日)
- ②諏訪幾之進光尚 7月10日(新暦:8月31日)
- ③丹羽織之丞僕茂右衛門 7月12日(新暦:9月2日)
- ④白石又右衛門僕宇兵衛 8月2日(新暦:9月21日)

①②の二人はリヤコタンに漂着するよりも前に船中で亡くなっていた。漂着のリヤコタンに埋葬

③④の二人は漂着後に死亡

墓の記述:『欽文(あきさと)様御年譜』第三巻 文化7年(1810年)3月6日の項

【原文】

三月六日 先達而 蝦夷地へ被差向候御人数之内 彼地并道中ニ而病死之者共 葬所へ杭を印  
ニ立 姓名を記候儀之処 墓石御建可下旨被仰出 蝦夷地之分ハ 越後新潟ニ而出来松前表へ  
船廻被仰付 夫分(より)先々廻方蝦夷懸り御役人御頼  
其余者御領主様方へ入目共ニ 御頼之上 小者躰ニ至る迄追々不残墓石御建被下之  
<読み下し>

三月六日 先だつて蝦夷地へ差し向けられ候御人数のうち、彼の地ならびに道中にて病死の者ども、葬り  
ところへ杭を印に立て、姓名を記し候儀の処、墓石御建て下さるべく旨、仰せ出でられ、蝦夷地のぶんは  
越後新潟にて出来、松前表へ船廻し仰せつけられ、夫れより先々廻し方蝦夷懸り御役人お頼み其の  
余は御領主様方へ入目共にお頼みの上、小者躰に至るまで、おいおい残らず墓石お建て、之を下さる。

注 其の余は それ以外に

入目(いりめ) 雇用のこと

小者躰(しょうじゃてい) 身分の下の者

### 1-3. ラナルド・マクドナルド

1848年(嘉永元年)に利尻島野塚海岸に上陸したラナルド・マクドナルド調査

現在のアメリカ合衆国オレゴン州アストリア生まれ

父はスコットランド人、母はアメリカインディアン

アメリカの捕鯨船に乗り組む

利尻島→宗谷→松前→長崎に行く

長崎でオランダ通詞からの依頼で英語を教える

<調査>

なぜ、鎖国の日本に渡ろうとしたのか

オランダ通詞がマクドナルドから英語を習うこととは

1848年(嘉永元年)利尻島の北海岸、野塚に上陸したラナルド・マクドナルド文学碑

『海の祭礼』(吉村昭)の文学碑

マクドナルドが生まれたオレゴン州アストリアに記念碑、亡くなったワシントン州トロダに墓碑がある。

利尻高等学校の課題とマクドナルドとを繋げる→マクドナルド奨学基金支援の会

<設立趣旨>

北の島は今、利尻高等学校の生徒数の減少から、間口減などの危機に直面しています。北の島に利尻  
高等学校があること、それはこれからの北の島で生きていく島人づくりのために欠かすことのできない大切な

高等教育機関です。島人も年々減少するなかで利尻高等学校の未来のために、このような視点に立って、利尻高等学校のために新しい波をおこすことが必要だと考えました。わたしたちが目指しているのは、世界史と日本史に関わってきた歴史をもつ北の島だからこそできることを利尻高等学校の今に繋げていくことです。こうした動きを築くためには、個人の責任に基づく自発的な活動の役割が大きくなってきます。北の島人みんなで北の島の利尻高等学校を維持していくために、鎖国時代の北の島に密入国したラナルド・マクドナルドの歴史を現在抱えている利尻高等学校の課題に結びつけることにしました。利尻島からアメリカを訪れ、交流に必要な英語を学ぶことを実感していただき、利尻高等学校でさらなる英語力を身につけることの必要性を自発的な学習行動から利尻高等学校の英語力の強さをつくっていく動きが発生することを願い、利尻高等学校の生徒が希望を持ち、新しい高等学校づくりに挑戦することを支援するために、ラナルド・マクドナルド奨学基金支援の会を設立します。

#### <運営方針>

英検2級・準2級合格者等ラナルド・マクドナルドのアメリカ縁の地に派遣

ラナルド・マクドナルド調査研究

派遣手続きと事務処理はラナルド・マクドナルド奨学基金支援の会が行う。

アメリカでのラナルド・マクドナルド縁の地の視察と同地の高校生との交流や観光はアメリカのラナルド友の会(FOM)が担当。

- 1) オレゴン州アストリア市内のラナルド・マクドナルド生誕の地視察及びアストリア高校での授業参加体験と同校生徒たちとの交流。
- 2) ワシントン州トログダにあるラナルド・マクドナルドの墓への墓参。この墓参についてはアメリカ FOM 会員の月森愛月美さんの協力を得て行う。
- 3) アメリカ FOM が所在するオレゴン州ポートランド市内及びコロンビア河渓谷国定公園観光と同市内又は近郊高校で日本語の授業出席体験と交流。さらにポートランドでフォート・バンクーバー史跡公園見学と三吉顕彰碑記念碑「友好親善」碑見学

#### <マクドナルド留学>

2013年(平成25年)から利尻高等学校生徒のマクドナルド留学。

2015年(平成27年)で三年となる。

### 1-4. 利尻麒麟獅子

利尻島仙法志字長浜で麒麟獅子用具発見

明治20年代に鳥取から仙法志字長浜に渡った人たちが、明治41年に麒麟獅子を持ちこむ鳥取の人たちだけで舞っていたが、すぐに途絶える。

現在の仙法志字長浜集落の人たちは麒麟獅子の詳細なことは全く知らなかった。

調査中に、利尻麒麟獅子の故郷、現在の鳥取県鳥取市秋里の人たちから、麒麟獅子舞の復活の依頼

1908年(明治41年)鳥取から利尻島仙法志字長浜に麒麟獅子舞が渡る。鳥取の人たちだけで舞っていたがすぐに途絶えた。

1991年(平成3年)麒麟獅子舞用具を発見。鳥取市秋里から渡ってきた人たちの麒麟獅子舞。

2003年(平成15年)鳥取市秋里から麒麟獅子舞を教えに来る。

2004年(平成16年)利尻麒麟獅子、ほぼ百年ぶりに復活。

2005年(平成17年)利尻麒麟獅子の故郷、鳥取市秋里の荒木三嶋神社で奉納舞い。

2008年(平成20年)利尻麒麟獅子、鳥取からの渡ってきた麒麟獅子舞を基に、海への感謝を込めて利尻

島独自の麒麟獅子舞を創作。

2010年(平成22年)鳥取から利尻麒麟獅子の新しい頭が来る。

鳥取市秋里・荒木三嶋神社の麒麟獅子が利尻島で舞う。

2011年(平成23年)利尻麒麟獅子、故郷鳥取で舞う。

2012年(平成24年)上川神社舞殿(能舞台)で舞う。能楽師津村禮次郎氏と繋がる。

2014年(平成26年)鳥取県立博物館「大麒麟獅子展」

2015年5月24日(日) 第6回とっとり伝統芸能まつり(米子市)に出演

※毎年6月20日に長浜神社(利尻町仙法志字長浜)で舞う。

#### 1-5. 「利尻山」秋田県男鹿半島入道崎

山神社 秋田県男鹿市北浦入道崎

石碑「利尻山 明治三十六年八月二十■日」

狛犬の台座：秋田県南秋田郡北浦町畠 石川丹治北海道出稼船中

入道崎での聞き取り

石川丹治は男鹿半島から利尻島への出稼ぎで中心的な役割を果たしていた。

利尻島で鱈建網漁場を営んでいた。

石碑「利尻山」は石川丹治が利尻島から石を持ってきて利尻山と刻んで建てた。

沼浦神社(利尻富士町鬼脇字沼浦)の狛犬

寄進年 1897年(明治30年)5月23日

寄進者 秋田回漕店 加藤浅吉・沢木亀吉・沢木千代吉・石垣義助

石川千代吉・石垣義助は現在の男鹿市北浦西黒沢の人

#### 1-6. 庚申 青森県津軽から

利尻島の庚申信仰調査

「庚申」は干支の「かのえさる」。60日の周期でめぐり年に6回、年によっては7回のときもある。

6人で庚申講がつくられる。

「庚申」の夜、身を慎み精進料理を食べて夜を過ごす。

津軽から渡って来た人たちの信仰。

利尻島で確認されている庚申碑は11基。

建立年代は最古で1911年(明治44年)。明治2、大正5、昭和1、不明3。

#### 1-7. 太平山三吉信仰 秋田から

利尻島の三吉信仰調査

秋田県から渡って来た人たちによる三吉信仰。

利尻島で確認されている「太平山三吉神社」は5基。

建立年代は最古で1906年(明治39年)。明治1、大正1、昭和2、不明1。

三吉神社(仙法志字神磯)で1月17日に梵天祭(復活して3年)

梵天祭(太平山三吉神社)

山は古くから信仰の対象であるとともに、豊かな水や木材、澄んだ空気など自然の恵みをもたらす万物生成の源でもあります。また、修験道の「梵天」の神は、天地を創造し万物を成育する徳を持つ神とされます。

秋田市・河辺・南秋田・北秋田へと連なる太平山が、五穀豊穡の神が鎮まる霊山として崇敬を受けて

きたことを考えあわすと、梵天奉納は年の始めに「五穀の豊穰」と様々な「産業の発展」、ひいては「家内安全」を祈ることが元々のおこりと考えられます。

さらに現在では、「商売繁盛」「社運隆昌」「安全祈願」などの企業梵天、「目標達成」「心身健康」「学業成就」祈願の福祉施設や学校・スポ少などの梵天など、年の始めに幸多い良き1年となるように、それぞれの願いと祈りをこめて梵天が奉納されています。(太平山三吉神社 HP)

## 1-8. 志摩の海女、テングサ採り

三重県志摩の海女がテングサ採取で利尻島に渡る

三重県志摩地方の海女の利尻・礼文島への出稼ぎは、中田四朗「志摩における海女出稼ぎ文書」(『郷土志摩』No.54)に志摩の越賀村の海女が明治 26 年(1893)に礼文島に出かけたことを紹介している(中田 1979)。

明治 26 年 3 月 22 日付けで、後志国小樽近辺と北見国利尻郡利尻島及び礼文島に 27 人の海女と 10 名の海女船を操る艫居(男)を引率して 5 月上旬に越賀村を出発する計画申請を志摩国英虞郡越賀村山本清市・井上太市が三重県知事成川尚義に「寄留出稼」の是非を伺った。

北海道庁からの回答を受けてから北海道出稼ぎの準備が進められ、明治 26 年 5 月 27 日付けで旅行願が出される。

旅行願

英虞郡越賀村二百三十九番屋敷 山本清助 印

(住所略)

磯和菊松・中村勝四郎・小川清一

井上いは・小川はつ・中村とめ・西岡きの・浅原しち・小林こよし・小村ふゆ・宮本わりん・中村まん・西岡はつ・磯和つる・太田いち・谷口とよ・井上きん・西岡小きん

右者今般出稼之為メ北海道北見国礼文郡香深村松原長太郎方へ向ケ、本年三十日、当地出稼可仕候二付、此段御届申上候也。

明治二十六年五月廿七日

右総代 山本 清助 印

中村勝四郎 印

磯和 菊松 印

越賀村々長 小川 栄 殿

利尻島のテングサ

昭和 30 年代に長野県に出荷

寒天の原料として

現在は送られていない

## 1-9. 鯨沖揚げ音頭

野辺地町沖揚げ音頭保存会

青森県

2009 年(平成 21 年)9 月 野辺地沖揚げ音頭保存会が利尻島に来る。

利尻沖揚げ音頭保存会と交流

2005 年(平成 17 年)9 月 青森県野辺地町から利尻町仙法志村への鯨漁夫調査

2008 年(平成 20 年)10 月 野辺地町鯨漁夫調査

※調査：仙法志村行政資料『鯨漁場漁夫入稼者名簿』の集計

## 2. 地域資源の活用・対流の促進

### 2-1. 利尻島の歴史資源が現在に活用されていること及び活用したこと

#### 2-1. 朝鮮人の泰山漂着

利尻町立博物館講座・稚内学

#### 2-2. 会津藩の利尻島警固

2008年(平成20年)の会津藩蝦夷地警固200周年記念事業でしおり作成担当

稚内市と利尻町で会津若松市と交流会

#### 2-3. ラナルド・マクドナルド文学碑から

アメリカの Friends of MacDonald との交流

マクドナルド留学支援に関わる

アメリカでの訪問、高等学校との交流・ホームステイはアメリカの Friends of MacDonald に依頼

長崎との交流

#### 2-4. 利尻麒麟獅子

6月20日の長浜神社での奉納舞い

鳥取との交流

麒麟獅子舞の依頼 第101回 JTB オリジナルイベント「杜の賑い北海道」 上川神社「和に親しむ」

#### 2-5. 「利尻山」秋田県男鹿半島入道崎

『利尻島の碑』利尻島の豆本②(利尻町)

#### 2-6. 庚申 青森県津軽から

博物館講座 町内小学校総合学習

#### 2-7. 太平山三吉信仰 秋田から

博物館講座 町内小学校総合学習

#### 2-8. 志摩の海女、テングサ採り

三重県史調査研修者との交流

NHK テレビ取材

#### 2-9. 鯨沖揚げ音頭

青森県上北郡野辺地町の沖揚げ音頭保存会来島でのイベント

### 2-2. 調査研究から交流・対流

世界史、日本史に関わる利尻島史

\* 1696年(元禄9年)に泰山に漂着した李志恒『漂舟録』から

アイヌの人たちが着ていた貂皮・熊皮・狐皮による着物と朝鮮人の着物などとの交流

→黒龍江を通して渡来する中国製の絹織物や青玉類と貂などの小皮類との交易を思い起こさせる。

山のように積まれていた鯨の干し肉

→松前名産で水戸光圀も食した石焼鯨

漂着した朝鮮人を助けたアイヌの人たち

\* 1808年(文化5年)の会津藩士の墓

ロシア襲撃から北を守るために

→ロシアが利尻島本泊沖で襲撃した万春丸から奪った大砲が Санктペテルブルク博物館に  
ボーダーツーリズム(国境・境界観光)

蝦夷地(北海道)とサハリンの警固地探訪

\* 1848年(嘉永元年)マクドナルドが利尻島に上陸

鎖国日本に入国

→密入国 アメリカ捕鯨船の日本近海での捕鯨漁 1845年(弘化2年)太平洋で日本人22人の漂流民を助ける。

マクドナルド、日本情報に出会う

いずれ鎖国が解かれる可能性が考えられることから、誰よりも早くに日本に密入国

ハワイから捕鯨船に乗る、捕鯨漁が終わってからボートに乗り移る

利尻島沖でボートに海水を入れ、漂流を装う

利尻島→宗谷→松前を経て長崎に

長崎でオランダ通詞からの要求で英語を教える

利尻高等学校への支援

マクドナルド留学 自らの道は自ら切り開く

\* 内地から利尻を目指す

豊富な海産物を有する利尻島へ 鯨・鱈・昆布・天草

近世末期で道南・青森津軽・秋田男鹿から利尻島へ

近代になってから本州日本海の地域と太平洋側の三重県から利尻島へ

北の島で生きるために支えとなる内地

麒麟獅子 鳥取からの移住は明治20年代 麒麟獅子の渡島は明治41年

利尻麒麟獅子舞の継続(毎年6月20日)

鳥取との交流

庚申 津軽の人たちは近世末期から渡島 庚申の碑の建立は明治末期から

太平山三吉神社 秋田からの人たちは近世末期から渡島 三吉の碑の建立は明治末期から

北の島を離れても利尻島を形に

秋田県男鹿半島にある山神社境内の「利尻山」

青森県上北郡野辺地町の鯨沖揚げ音頭保存会

### 3. Corner Convection&Interchange(端っこ対流&交流)

日本の端っこを行き交って利尻島と繋がる歴史を、それぞれに住む人々がお互いの地域の魅力を分かち合い、人・もの・歴史を再び行き交えさせる Corner Convection&Interchange(端っこ対流&交流)。

利尻島と繋がりある地域とで公開シンポジウム

端っこ対流・交流ツーリズム

端:物事の初めの部分。いとぐち。きっかけ。物のはしの部分。へり。



